



日本の企業はどの企業も現在五段階にランク付けされています。

①正常先 ②要注意先(要注意先・要管理先) ③破たん懸念先 ④実質破たん先 ⑤破たん先 となっています。

②はさらに要注意先と要管理先に分かれます。要注意先が1ランク下ると要管理先となります。不良債権とは要管理先以下の企業に対する貸付金を指します。

要管理先以下に下がれば融資は期待できません。国(金融庁)の方針で、要管理先以下に対する融資額を増やすと厳しく指導されてしまうので貸したくても貸せないのです。

## 経営者のための 企業再建実務講座⑤

>17<

ですから、もしA銀行で皆さんの評価が要管理先以下であれば、いくら尽くしても無駄になります。

A銀行に言われるまま公共料金の引き落とし、給与振り替え、定期預金に協力しても何のメリットもないといえます。

A銀行に預ける資金があるのなら、今まで取引がなかったB銀行に資金を預けてそれを担保に融資を受ける方が得策です。

それではA銀行にどう評価されているかを知る方法があるでしょうか? じかに聞いても教えてくれませんが、ある程度のこととは分かります。少なくとも融資が受けられるのであれば正常先か要注意先です。

今まではプロパー(銀行自身の融資・保証協会の保証無し)で融資を受けられたのに「今後は保証協会です」と言われたとすれば、皆さんへの評価が下がってきているといえます。

(NPO西日本事業支援機構、小西吾郎)